

A. 主な動き

1. 内政

・11日、ティモフティ大統領は、フルトゥネ経済担当大統領補佐官、バルベニャグレ国防・安全保障担当大統領補佐官兼最高安全保障会議書記を新たに任命する大統領令に署名。

・11日、ドドン社会党党首は、モルドバの連邦化を念頭に置いた沿ドニエストル問題の解決案を提案。これに対し、12日、フィラト首相は、政府の基本方針に反するとし、同提案には賛成できない旨発言。

2. 経済

規制改革戦略

・9日、経済省は、新たな規制改革戦略を打ち出す意向を発表。経済省によれば、最初の段階では2007年に承認された現在の戦略の実施結果が評価され、その後、ビジネスコミ

ュニティや市民社会の代表者を含む広い意見公募の結果として、長期的な新しい戦略の優先課題が決定される旨報告。また同省は、現在、その戦略のために58の部門の法律改正を検討中である旨発表。

3. 沿ドニエストル

セルジュコフ露国防相の沿ドニエストル訪問

・13日、セルジュコフ露国防相は、沿ドニエストルを非公式訪問し、駐ティラスポリ露軍施設を視察。同日、モルドバ外務・欧州統合省は、本訪問がモルドバ政府との事前協議を経ずに実施されたことに対し遺憾の意を表明。

その他

・12日、シェフチューク「大統領」は、ルサノヴァ「第一副首相」を任命する「大統領令」を発出。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)